



企業訪問から始める キャリア探求ワークブック

株式会社キャリアサイエンス研究所

本ワークブックの目的と構成

【本ワークブックの目的】

本ワークブックは、「企業訪問」を予定している中学生～高校生の方に向け、将来の職業(仕事)や働き方などを考えるための教材として作成されたものです。より具体的には、下記のようなことを目的としています。

- ①企業訪問の目的や重点的に見聞きすべきテーマが何かを学ぶ。
- ②企業訪問に際して守るべきマナーを学ぶ。
- ③企業訪問で得た情報の整理方法を学ぶ。
- ④将来役立つよう、自分の力で、自分に合った仕事が見出せるようトレーニングをする。

【本ワークブックの構成】

本ワークブックは、大きくは下記の2編から構成されています。

A: 企業訪問編

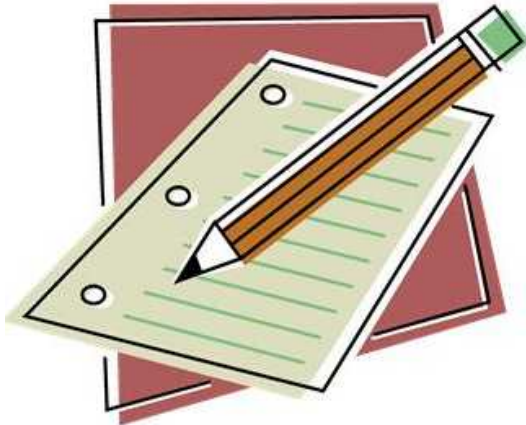
企業訪問をより有益なものとするためのさまざまな学習をおこないます。Ⅰ・Ⅱに分かれており、Ⅰにおいては事前の準備学習を、Ⅱにおいては、企業訪問後の情報整理・振返りをおこないます。

B: 発展学習編

企業訪問からは離れ、自分で「自分の将来の仕事(めざす仕事)」が考えられるようになるための思考トレーニング(ワーク)をおこないます。

■ 本ワークブックの構成

企業訪問編	I	企業訪問のための準備学習
	II	企業訪問の情報整理と振返り
発展学習編	III	めざす仕事の探求 ※ワークに挑戦 「めざす仕事を探してみよう！」



I 企業訪問のための準備学習

Q 何のために企業訪問をするの？

A 自分の将来への「手がかり」を得るためです。

「企業で働く人」が圧倒的に多いという事実。

いま日本では、どれくらいの方が企業で働いていると思いますか？

正確な数値を示すのはなかなか難しいのですが、厚生労働省の『労働力調査』によれば、平成23年末の時点で、企業従業員の総数は約4905万人。日本の全就業者数が約6222万人ですから、全就業者数の約79%ということになります。つまり、日本の働く人の5人に4人が企業で働いているということであり、圧倒的な多数派であることが分かります。

この比率がこの先どうなっていくかは分かりません。しかし、この先も経済活動は続くこと、そしてその主役が企業であり続けることは、たぶん間違いありません。つまり、将来皆さんが社会に出ていくとき、企業で働くことになる可能性はきわめて高い、ということになります。



「将来働くかも知れない場所」について知っておく。

企業訪問で「明日の自分」への手がかりを見つけましょう！

「将来、企業で働く可能性がかなり高い」と分かった以上、私たちがやるべきことは明確です。それは「企業についてできるだけ多くを知っておく」ということです。そもそも企業とは何なのか、どんな分野で活動しているのか、社員の人たちは日々どんなことをしているのか・などなど。そうしたことをできるだけ多く知り、将来に備えておくべきだ、ということです。

今回、皆さんが「企業訪問」をおこなうのも、まさにそのためです。

実際に企業を訪ね、企業の方に働く現場を見せていただいたり、お話をうかがったりする中で、「将来働く可能性が高い場所」である企業について、さまざまなことを学び、将来への手がかりを得る。企業訪問は、いわば「明日の自分」へと近づくための、最初の一步なのです。

Q 訪問して何を学べばいいの？

A 企業には「いろいろな仕事がある」ことを学びましょう。

企業は「協力の場」。だから「いろいろな仕事」がある。

「将来への手がかりを得る」とは言ってみたものの、漠然としていて「具体的に何をしたらいいかわからない」と思う人も多いと思います。企業訪問を有益なものにするには、もうすこしテーマを絞りこむ必要がありそうです。

今回の訪問で皆さんにとくに学んでほしいのは、「企業の中にはいろいろな仕事がある」ということです。

企業の活動は、多くの人々の協力によって支えられています。製品を作る人もいれば、それを売ることを専門にする人もいる。製品のアイデアを考える人もいれば、お金の出し入れを管理する人もいる。多くの人々が、互いに協力しあいながら、それぞれの役割を果たすことによって、企業は途絶えることなく活動を続けているのです。

こうした「協力の場」としての企業の姿を、ぜひ間近なところで見てきてほしいのです。

やがて社会に出ていく日のために。

「企業の中の仕事の多様さ」に目を向けてみましょう！

今から何年か後、皆さんは社会に出て行くこととなりますが、それは多くの場合、企業という「協力の場」に参加していくことを意味しています。言い換えれば、何年か後に、どのような企業でどのような仕事をするか、皆さんは自分で決めなければならないということです。

もちろん、そんなに焦って道を決める必要はありません。しかし、準備はしておくに越したことはありません。今のうちから「企業の中の仕事の広がり、多様さ」に関心を持つことは、将来の「キャリア選択」のために、とても良いことだと思います。

今回の訪問だけではムリかも知れませんが、こうした関心を持ち続けていけば、やがて自分が「やってみたい」と思える仕事にもめぐりあえるはずですよ。



Q どんな準備をしておけばいいの？

A 「3つのポイント」を理解しておきましょう。

訪問は短時間。ポイントをあらかじめ決めておく必要があります。

企業はつねに動き続けています。したがって、企業の中で働く皆さんは忙しく、そんなに時間をいただくことはできません。ポーッとしていたり、関心をいたずらにあちこちに向けてしまえば、あっという間に時間は過ぎ、何も身にならないまま帰ってくることになりかねません。

大切なのは準備です。何を聞くのか、何を見るのか、自分なりに「ポイント」を決め、しっかり準備をして当日に臨むことが大切です。

共通目的・役割分担・必要な能力・・・。

「3つのポイント」で情報収集すると、仕事のことがより深く理解できます。

先に述べたように、今回の最大の学習テーマは「企業の中にはいろいろな仕事がある」ということへの理解です。しかし、それは「製造とか販売という仕事がある」という、一般的な知識を手に入れることではありません。

今回の訪問を通じて、皆さんには、仕事というものをより深く理解してほしいと思っています。「なぜその仕事は必要なのか」「1つ1つの仕事は、他の仕事とどう関わっているのか」など、訪問しなければ分からない、深い「実感をともなった知識」を、ぜひとも手に入れてほしいのです。

そうした「深い知識」を手に入れるため、本ハンドブックでは、右表の3つのポイントからの情報収集をお勧めしています。詳しくは次ページ以降で述べますが、この「3つのポイント」を頭に入れて企業訪問にのぞむことで、短い時間を、「仕事への深い知識」「将来への手がかり」を得る機会として、有益に活用することができると考えています。



■仕事を深くとらえる「3つのポイント」とは

共通目的	その企業で仕事をする人が、共通の目的とするものは何か
役割分担	共通目的の実現のために、企業内ではどんな役割分担がなされているか
必要な能力	それぞれの役割を果たすために必要な能力はどのようなものか

仕事を深くとらえるポイント①: 共通目的

その企業はどんな「社会貢献」をめざしているのか？

企業は「社会貢献」をめざしている。すべての仕事は、その実現を共通目的としている。

企業は私たちの生活を支えています。コンビニで簡単にお菓子が買えるのも、食品会社や運輸会社などが、絶えることなく製品を作り、それを店頭に届けてくれるからです。こうした企業の営みがなければ、今や私たちの生活は、一日たりとも成り立ちません。

企業は、人々や社会に貢献し、その対価を受け取ることで、はじめて存在し続けることができます。より豊かに、より便利に、より美しく…など、目的や内容は違っていても、自社が生み出す製品やサービスを介して、継続的に世の中に貢献していく存在。それが企業なのです。

そして、企業の中にあるすべての仕事は、その「貢献」を実現することを目的としています。製品を組み立てる、製品を売ってくるなど、その中身は違っていても、1つの共通目的をめざして、皆が協力して働き、企業は維持されているのです。

「3つの視点」から「共通目的＝社会貢献」の内容を把握してみよう！

「その企業が実現しようとしている貢献のかたち」は、その企業の中の全ての仕事の「共通目的」となるものであり、企業内の仕事を深く理解するためには、欠かすことのできない情報といえます。訪問した際には、ぜひとも確認するようにしましょう。

とはいえ、「貢献内容を把握しろ」といきなり言われても、漠然としていて、ちょっと難しいと思います。そこで、右表に示すような「3つの視点」から、貢献内容を把握することをお勧めします。

■ 貢献内容を把握する「3つの視点」とは

視点①	何を	どのような製品やサービスを提供しているのか
視点②	誰に	①の製品やサービスを、どのような人＝お客様に対して提供しているのか
視点③	何のために	その製品やサービスは、お客さまのどんな「悩みごと」や「願いごと」に応えることをめざしているか

■訪問に備える準備学習①

あなたが知っている企業は、どのような社会貢献をしているのか、「3つの視点」から考えてみてください。

(製品やサービスの提供を通して、どのような人の、どのような「困りごと」や「願いごと」に応えているのかを記入する)

業種名・企業名	製品やサービス	主な「お客さま」	「困りごと」や「願いごと」の内容

仕事を深くとらえるポイント②: 役割分担

企業の中はどんな役割分担になっているのか？

「全体の役割分担」を理解すると、それぞれの仕事の意義も見えてくる。

訪問先に行くと、その企業の中の、さまざまな仕事について説明があると思います。しかし、1つ1つの仕事についての詳細を知る前に、やっておきたいことがあります。それは、その企業の中の「役割分担の全体像」を、きちんと理解しておくということです。

役割分担の全体像を頭に入れておくことで、1つ1つの役割(つまり仕事)が、活動全体の中でどのあたりに位置づけられるか、また他の仕事とどのような関係にあるかが分かり、その仕事に意義がより鮮明に見えてくることになるはずです。

役割(仕事)を、まずはチーム単位で把握してみましょう！

仕事をするのは、最終的には企業の中で働くひとりひとりです。しかし、一般に企業の中では「部」とか「課」などと呼ばれるチームがあり、それぞれを1つの単位として、会社から役割を与えられています。

今回の企業訪問で、皆さんに理解して欲しいのも、まずはこの「チーム単位での役割」です。その企業の中には、異なる役割をもったチームがどれだけあり、日々どのような活動をおこなっているか。企業の方の話などを通じて、それをしっかり理解するようにしてください。

右表には、とくに製造業によく見られる「チーム単位の役割分担」を示しましたので、参考にしてください。

■ 企業(製造業)におけるチーム単位での役割分担

仕入れる	原材料や部品を外部から購入する(仕入れる)	● 購買部 ● 調達部など
作る	原材料を加工したり、部品を組立てて製品に仕上げる	● 製造部 ● 生産部など
売る	より多くの顧客に売る (製品の存在と魅力を伝える)	● 営業部 ● 販売部など
支える	事業活動がスムーズに行くよう陰から活動を支える	● 総務部 ● 財務・経理部など
考える	これからの事業展開の方向性を専門的に考える	● 研究開発部 ● 企画部など

■訪問に備える準備学習②

あなたが日頃使っている製品は、それを提供してくれている企業の人たちの努力の賜物(たまもの)です。
ある製品を例にとって考えたとき、その製品がお客さまの手元に届くまでには、
企業内のどのようなチームの、どのような努力があったと考えられるか、想像して書いてみてください。

製品名	どんなチームが、どんなことで努力したと考えられるか

仕事を深くとらえるポイント③: 必要な能力

どんな能力を持った人たちが活躍しているのか？

企業は、高い能力をもった「プロの集まり」でなければならない。

私たちが企業から製品を買ったり、そのサービスを利用したりするのは、その企業が、特定の分野において、すぐれた製品やサービスを提供してくれるという期待があるからです。その期待が持てなければ、誰もお金を払ってまで購入したり、利用したりしないはずで

こうした期待に応えるには、企業の中には、自分が受け持つ仕事において高い能力を持っている人(つまり「プロ」)がいなければなりません。プロ同士が、お互いに信頼しあって協力をすることで、ハイレベルな製品やサービスは、はじめて実現されているのです。

もちろん、必要な能力は、受け持っている仕事によって、大きく異なっています。

複雑なことを正確に分析する能力が求められる仕事もあれば、お客さまに気配りをする能力が何よりも重要な仕事もあります。そうした異なるタイプを持った「人材」が集まって協力する場。それが企業なのです。

自分の将来のために、「それぞれの仕事に必要な能力」を考えてみましょう！

今回の企業訪問を通じて、皆さんは、企業の中の「いろいろな役割(仕事)」にふれることになると思います。その際にぜひ情報を集めてほしいのは、「その仕事で活躍するには、どんな能力を持っていればいいのか」ということです。

もちろんそれは、訪問先企業の仕事をよりよく理解することにも役立ちます。しかし、理由はそれだけではありません。「必要な能力」を理解することは、皆さんが「将来の仕事」を考えるにあたって、重要な手がかりを与えてくれるはずだからです。

誰にでも、得意なことはあります。自分のその「得意」を、企業で活かすためには、どのような仕事を志せばいいのか。その手がかりを得るためには、ぜひとも「能力」に注目してみてください。



例

「商品企画(新しい商品のアイデアを考え出す)」という仕事をする人に求められる能力(例)

- 情報を集める能力
- 集めた情報を正確に分析する能力
- アイデアを発想する能力
- 詳しいプランを立て、文書にする能力
- 周囲の人に説明し、納得してもらう能力 など

■訪問に備える準備学習③

同じ企業に所属していても、果たす役割(仕事)によって必要な能力は異なります。下記の2つの役割(仕事)においては、どんな能力が必要と思いますか。あなたの考え(想像でかまいません)を記してください。

一般的な役割名称	役割の内容	たぶん、こんな人が活躍している(想像)
営業	自社の製品やサービスの魅力を伝えるなど、お客さんがより多く買ってくれるような働きかけを行なう	
製品開発	お客さんにより多くの満足を与えるような、新しい製品のアイデアを考えるとともに、実際に製品化できるようにする	

【確認】企業訪問を有意義にする「3つのポイント」

下記のようなポイントに関して、企業の方の話を聞いたり、実際に働くところを見たり、また時には自分から質問をするなどして、できるだけ多くの情報を集め、「企業で働くこと」についての理解を深めましょう！

①その企業の「共通目的＝社会貢献の内容」を知ろう！

企業内の仕事の共通目的である「社会貢献の内容」を理解する。すなわち「何を」「誰に」「何のために」という3つのポイントに関して、理解を深める。

②その企業の中の「役割分担」を知ろう！

①の貢献内容を実現するために、企業の中ではどのような協力体制がつけられているか。すなわち、どのようなチーム（部や課など）が、どのような役割を果たしているか、その全体像を理解する。

③それぞれの役割（仕事）に「必要な能力」を知ろう！

①の貢献内容を実現するための1つ1つの役割（仕事）において、プロとして活躍するには、どのような能力を持っていることが必要なのかを理解する。



訪問先ではマナーに気をつけましょう！

①きちんと挨拶をしよう。

企業の方は、とても多忙な中を、皆さんのために時間を割いてくださっています。感謝の気持ちを表すためにもまた気持ちよくお話をさせていただくためにも、折り目正しく、きちんと挨拶をしましょう。

②騒がない。許可された場所以外に行かない。

行くのは職場です。仕事の邪魔にならないよう、注意深く行動しましょう。騒がないのは当然ですし、許可された場所以外のところに勝手に行くのも、絶対にやめてください。



③質問しよう。メモを取ろう。

企業の方は、皆さんが期待していることを、何でも教えてくれる訳ではありません。分からないこと、知りたいことがあったら、積極的に質問してください。また、お話はきちんとメモを取りましょう。



Ⅱ 企業訪問の情報整理と振り返り

■ 訪問先でのメモ用紙①

話してくれた方	話の内容

■ 訪問先でのメモ用紙②

話してくれた方	話の内容

■ 訪問先でのメモ用紙③

話してくれた方	話の内容

【メモからの整理①: 共通目的(社会貢献の内容)】

()社はどのように社会に貢献しているか？

訪問先の企業は、どのようなかたちで社会(人々)に貢献していましたか。3つの視点からまとめてください。

視点①:「何を」(どのような製品やサービスを提供しているのか)

視点②:「誰に」(どのような人=お客さまに提供しているのか)

視点③:「何のために」(どのような『困りごと』や『願いごと』に応えることを目的としているか)

製品やサービス	主な「お客さま」	「困りごと」や「願いごと」の内容

【メモからの整理②: 役割分担】

どのような「役割分担」になっているか？

訪問先の企業には、どのようなチーム(ここでは「部」や「課」のこと)がありましたか。

主なチームの名称を記入し、それぞれが果たしている役割(つまり仕事の内容)を、下記にまとめてください。

チーム(部・課など)名称	果たしている役割(仕事の内容)

【メモからの整理③:必要な能力】

どんな能力を持った人たちが活躍しているか？

「メモからの整理②」に記したチーム(部・課など)で活躍している人は、どのような能力を持っていましたか。

チームの名称を記し、それぞれで活躍する人が持っている能力を、下記にまとめてください。

チーム(部・課など)名称	活躍する人が持っている能力

【総括】「自分について分かってきたこと」の整理

先に述べたように、企業訪問の目的は「明日の自分を探すための手がかりを得る」ことです。
訪問先で見聞きしたこと、自分なりに感じたことをもとに、
今回の訪問を通じて分かってきた「自分自身の傾向、特徴」を、以下にまとめてみましょう。

①「製品やサービスの提供を通して社会に貢献する」という企業の活動に、興味を持っていましたか？

持てた 持てなかった よく分からない（どれかに○をつける）	
そう感じた理由	

②興味を持った「企業内の仕事」はありましたか。あったとすれば、その理由は何ですか？

興味を持った仕事	
興味を持った理由	

③企業で活躍するために、どんな能力を高めたいと感じましたか（いくつでもかまいません）？

高めたい能力	
--------	--



お礼の手紙を書きましょう！

- 訪問でお世話になった企業の方にお礼の手紙を書きましょう。
- 書き方や送り方は、先生の指示にしたがってください。
- 下欄は、下書き用として活用してください。



Ⅲ めざす仕事の探求 (発展学習編)

「めざす仕事」を探そう！（Ⅲ：発展学習編の目的）

自分の将来は自分で決めたい。

ならば、自分のアタマで「めざす仕事」が探せるようになりましょう。

ここまで「企業訪問」に関連して、「将来の仕事」のことを考えてきました。実際に企業を訪問した方は、自分なりに何らかの「将来への手ごかり」を得ることができたと思います。

本章（Ⅲ：発展学習）は、では、ここまでの学習成果も念頭には置きつつも、いったんそこから離れ、「めざす仕事の探求」というテーマに挑戦してみたいと思います。

ただし、ここでの「めざす仕事の探求」とは、「将来絶対にこれになる！」というような、確固たる目標を見出すことではありません。それは、「こんな仕事をめざしてもいいかな」といった、「ゆるい目標」を見出すことを意味しています。

「そんなゆるい目標でいいのか？」と思われるかも知れません。でも、今はそれでいいのです。なぜなら、ここでの最大のテーマは、「めざす仕事」を定めることではなく、「めざす仕事」をどうやって見つけていくかという、「考え方の習得」にあるからです。

他人から「こういう仕事をしろ」と決められてしまうのは、誰だって嫌なはずですが、自分の人生なのですから、自分で「めざす仕事」を決め、自分で努力してその仕事に就くというのが、望ましいに決まっています。しかし、それはそう簡単なことではありません、「考える方法」をきちんと習得していなければ、それはできないことなのです。

流されるままに、あるいは思いつきや一時期の流行で自分の将来を決めてしまうことのないよう、ここでしっかりと、その方法を学んでおきましょう。



本章では、個人で働くか、企業に勤めるかという、働きかたの問題はとくに考慮せずに「めざす仕事」を見つけるものとします。



「めざす仕事」の探し方①:2つの条件

「めざす仕事」はあてずっぽうで見つけるものではありません。ある程度「理にかなった結論」を導き出すためには、探す人が下記のような条件を満たしている必要があります。

条件A 「仕事(社会貢献のかたち)」をたくさん知っていること

「めざす仕事」を探し出すには、できるだけ多くの仕事を知っていることが必要です。狭い範囲で考えるより、広い範囲で、豊富な選択肢の中から探した方が、より自分に合った「めざす仕事」が見つかる可能性は高いからです。

しかし「仕事を多く知っている」とはどんなことなのでしょう。ただ「仕事」というだけでは、ちょっとあいまいです。

いろいろな考え方があるでしょうが、本章では「仕事＝社会に貢献すること」という考えに立ち、その「かたち」を数多く知っていることをもって、「仕事をたくさん知っている」ことにしたいと思います。つまり、理にかなった結論を得るには、「社会貢献のかたち」をたくさん知っていることが望ましいということです。

条件B 自分を知っていること(「好き」と「得意」が分かる)

「めざす仕事」を探すには、自分自身を知っていることも、とても大切です。

たとえば、自分が「何が好きなのか」「どんなことに興味関心があるのか」を知っていることは、「やってみたい」と心から思える仕事を見つけるために必要です。

また、自分が「どんなことを得意としているか」を知っていることも、「めざす仕事」を探すにはとても重要といえます。誰だって、どうせめざすなら、将来活躍できる可能性の高い仕事が望ましいはずで、そのためには自分の「得意」を知っていなければならないからです。

この「好き」と「得意」の2つを満たすような仕事を、一般的には「自分に合った仕事」といいます。

言い換えれば、自分に合った「めざす仕事」を見つけるには、自分自身の「好き」と「得意」の両者を正しく自覚し、探求に活用しなければならないということです。



「めざす仕事」の探し方②: どう進めるか

たくさんの「社会貢献のかたち」から、「好き」と「得意」で絞っていく。

先に示した「2つの条件」をもとに、「めざす仕事」の探し方を考えると、下記のような流れが、理にかなったものといえそうです。

1) まず「たくさんの社会貢献のかたち」を理解する

できるだけ多くの候補の中から「めざす仕事」を考えることができるように、まずは「仕事＝社会貢献のかたち」を、たくさん理解します

2) 自分の「興味関心(好き)」と「得意」を自覚する

自分が何に興味関心を持っているのか(どんなことが好きなのか)、またどんなことを得意としているのかについて、できるだけ正確に自覚をします

3) 自分に合った「めざす仕事」へと絞りこむ

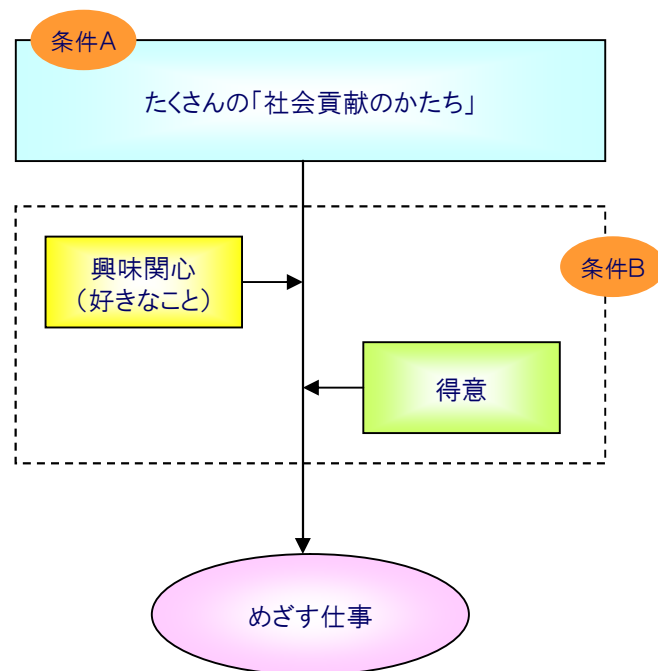
1で用意した「候補」を、2で自覚した「興味関心(好き)」と「得意」の2つの視点で評価し、自分に合った「めざす仕事」へと絞りこんでいきます

※「めざす仕事」は1つだけとは限りません

上記のように理屈でいっても、すぐにはピンと来ないと思います。以下、実際にワークする中で、考え方を理解していきましょう！



■「進め方」に関する基本的な考え方



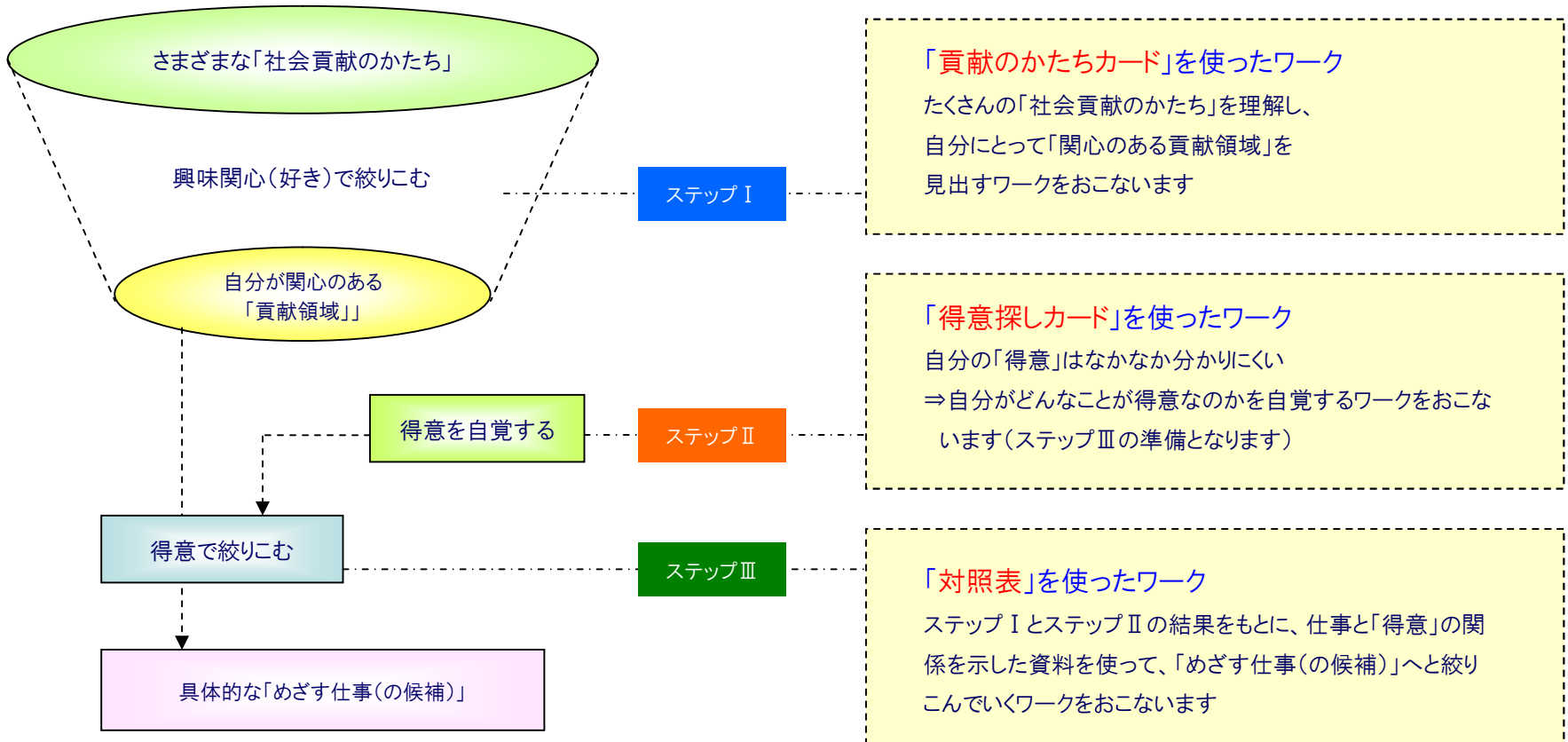


【ワークに挑戦】

めざす仕事を探してみよう！

ワークの流れ(3つのステップ)

- 先に示した「めざす仕事の探し方」の考え方にもとづき、3つのステップでワークをおこないます。
 - 下記にその全体的な流れを示しています。各ステップごとの作業内容は、追って説明します。
- ※カードの切り貼り作業があります。ハサミとノリを用意してからとりかかってください。



ステップ I : 「貢献のかたちカード」をつかったワーク

【作業の流れ】

- ① 18枚の「(貢献)領域」を示したカード(貢献のかたちカード)があります。1枚ずつに切り離してください。
- ② 切り離したら、最初に、各カードに記された内容に、まずざっと目を通してください。
- ③ 次に、各カードの内容(貢献のかたち)をきちんと読み、興味関心を感じた「貢献のかたち」があったら、□に「レ」でチェックをしてください。
※ たんに「おもしろそうに感じた」「ちょっとやってみたいと思った」ということでチェックしてもかまいません。
- ④ 興味関心を感じた「貢献のかたち」がもっとも多いカードを4枚を選び、下に貼ってください。

領域①:お年寄りが暮らしやすい社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- | | |
|---|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> お年寄りの介護をする | <input type="checkbox"/> お年寄りに食事をつくる |
| <input type="checkbox"/> お年寄りの話し相手になる | <input type="checkbox"/> 介護する人を手助けする |
| <input type="checkbox"/> お年寄りに役立つ道具を考える | <input type="checkbox"/> バリアフリーな街をつくる |

領域②:環境を大切に作る社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- | | |
|-------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 省エネ技術を開発する | <input type="checkbox"/> 自然を守る |
| <input type="checkbox"/> リサイクル活動をする | <input type="checkbox"/> 環境教育をする |
| <input type="checkbox"/> 公害を防止する | <input type="checkbox"/> 緑化活動を推進する |

領域③:経済活力のある社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- | | |
|---------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 企業の海外進出を支援する | <input type="checkbox"/> 起業する人を支援する |
| <input type="checkbox"/> 経営者に助言をする | <input type="checkbox"/> 経営戦略を考える |
| <input type="checkbox"/> 優秀な人材を育てる | <input type="checkbox"/> 雇用を生み出す |

領域④:子どもがのびのび育つ社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 子どもの才能を見つける | <input type="checkbox"/> 子どもの健康を守る |
| <input type="checkbox"/> 親子の交流を応援する | <input type="checkbox"/> 子どもと遊ぶ |
| <input type="checkbox"/> 楽しく学べる教材をつくる | <input type="checkbox"/> 子育てを支援する |

領域⑤:快適な住環境のある社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- | | |
|---------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> きれいな庭をつくる | <input type="checkbox"/> 家具をデザインする |
| <input type="checkbox"/> 健康にいい家をつくる | <input type="checkbox"/> 家を清潔に保つ |
| <input type="checkbox"/> インテリアをデザインする | <input type="checkbox"/> 安全な家を設計する |

領域⑥:人やモノが行きかう社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 快適な旅を提供する | <input type="checkbox"/> 高速の鉄道輸送を実現する |
| <input type="checkbox"/> 安全な空の旅を実現する | <input type="checkbox"/> 安全な船の旅を実現する |
| <input type="checkbox"/> 夢のある自動車をつくる | <input type="checkbox"/> 新しい移動手段を開発する |

領域⑦:世界と交流する社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- | | |
|--|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 国際問題の解決に貢献する | <input type="checkbox"/> 外国人に日本語を教える |
| <input type="checkbox"/> 旅行者の世話をする | <input type="checkbox"/> 海外で日本人の世話をする |
| <input type="checkbox"/> 外国から来た人の世話をする | <input type="checkbox"/> 日本製品を世界に紹介する |

領域⑧:安全・安心な社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- | | |
|--------------------------------------|------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 犯罪防止を推進する | <input type="checkbox"/> 人を犯罪から守る |
| <input type="checkbox"/> 家のセキュリティを守る | <input type="checkbox"/> 火災の発生を防ぐ |
| <input type="checkbox"/> 子どもを危険から守る | <input type="checkbox"/> 救命体制を整備する |

領域⑨:先端技術を生み出す社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- | | |
|---------------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 知的財産を守る | <input type="checkbox"/> バイオ技術を進化させる |
| <input type="checkbox"/> 先端的なロボットを創る | <input type="checkbox"/> 独創的な研究をする |
| <input type="checkbox"/> 子どもたちに科学を教える | <input type="checkbox"/> 研究者・技術者の支援をする |

領域⑩:レジャー・趣味が楽しめる社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 家族旅行の世話をする | <input type="checkbox"/> スポーツを教える |
| <input type="checkbox"/> 趣味の雑誌を刊行する | <input type="checkbox"/> 観光地を案内する |
| <input type="checkbox"/> 健康づくりを支援する | <input type="checkbox"/> 自分の趣味を補いに教える |

領域⑪：インフラが整備された社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- 大きな建造物をつくる
- 鉄道網を整備する
- 災害に強い街をつくる
- ビルの設計をする
- 道路を整備する
- 途上国のインフラ整備を支援する

領域⑫：医療サービスが充実した社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- 新薬を開発する
- ケガ人の治療をする
- 健康や栄養に関する助言をする
- 病人の看護をする
- 救命活動をする
- リハビリを支援する

領域⑬：動物を愛する社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- 人と動物がふれあう場を作る
- 動物のケガや病気を治す
- 動物の生態を紹介する
- 動物を保護する
- 動物の生態を研究する
- 飼い主を支援する

領域⑭：食文化が豊かな社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- 食品の安全を守る
- 新鮮な食材を提供する
- 最高に美味しい料理をつくる
- 安全な食材を提供する
- 新しい料理を生み出す
- 食育の教育をする

領域⑮：ファッションが楽しめる社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- 衣服をデザインをする
- アパレルショップを経営する
- 美容のアドバイスをする
- アクセサリーをデザインする
- 人にネイルをしてあげる
- 楽しいファッション雑誌を創る

領域⑯：情報化の進んだ社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- 面白いゲームを開発する
- 情報のセキュリティを守る
- 新しいハードウェアを開発する
- 独自のスマホ・アプリを創る
- 情報化で社会を便利にする
- 新しい通信手段を考える

領域⑰：新しい文化を生み出す社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- 新しいアート作品を生み出す
- 感動的な物語を生み出す
- 新感覚の雑誌を生み出す
- 面白いTV番組を制作する
- ざん新なデザインを生み出す
- 面白いアニメを創る

領域⑱：伝統を大切にする社会づくりへの貢献

【貢献のかたち】

- 神社仏閣を大切にする
- 伝統技術を受け継ぐ
- 子どもに伝統文化を教える
- 日本の伝統文化を世界に広める
- 文化財を守る
- 着物の着付けを教える

ステップⅡ：「得意探しカード」をつかったワーク

【作業の流れ】

- ①32枚の「仕事に関わる行動」を記したカード(得意探しカード)があります。1枚ずつに切り離してください。
- ②最初に、カード全体にざっと目を通してください。
- ③次に、32の行動の中で、自分が「得意」といえるものを6個選び、それが記されたカードを下に貼ってください。
※直感で選んでかまいません。

「得意だ」と感じたカード(6枚まで)

人の身の回りの世話をする	料理をする	花や樹木を育てる	人に助言する
人に教える	新しいアイデアを考える	すばやく判断する	人と交渉する
絵を描く・デザインする	力仕事をする	人をもてなす	文字をきれいに書く
プランを立てる	機械を操作する	パソコンを駆使する	外国語を話す

正確な判断をする	スピーディに行動する	正確に作業をする	複雑な計算をする
ていねいに手づくりする	厳しい環境に耐える	人を楽しませる	調べる・分析する
動物の世話をする	スポーツをする	演奏する・歌をうたう	資料を作成する
文章を書く	人の気持ちを察する	粘り強く作業をする	子どもと遊ぶ

ステップⅢ：「対照表」をつかったワーク

次ページからの「対照表」には、18の貢献領域ごとに、5つの具体的な仕事の名称が示してあり、さらに各仕事ごとに、その仕事に必要な「得意なこと」が4つずつリストアップされています。これを使って、下記の作業をしてください。

【作業の流れ】

①ステップⅠで選んだ4枚のカードに記された「(貢献)領域名」を、下の①欄に転記してください(例:お年寄りが暮らしやすい社会づくり)

②ステップⅡで選んだ「得意だと感じたカード」の内容を、下の②欄に転記してください(例:他人の世話をする)

③「対照表(6ページあります)」をもとに、下記のような流れで自分の「めざす仕事(の候補)」を探してください。

1)ステップⅠで選んだ「貢献領域」の箇所(4つ)で、「仕事名称」と「望ましい『得意なこと』」を見る

2)「望ましい『得意なこと』」の中に、自分の「得意なこと」が入っているかどうかを見る

3)入っていれば、それが「めざす仕事(の候補)」となり、その名称を5つまでの③の欄に記入する

※5つ以上ある場合は、より多く「得意なこと」が入っている「仕事名称」を記入し、5つに達しない場合は、ステップⅠ・Ⅱに戻り、カードを選び直してください

①ステップⅠで選んだ「(貢献)領域名」	

②ステップⅡで見出した「得意なこと」	

③「めざす仕事」の候補(最大5つまで)

■ 対照表①

貢献領域	仕事名称	望ましい「得意なこと」			
①お年寄りが暮らしやすい社会	ケアマネジャー(介護支援専門員)	人に助言する	資料を作成する	調べる・分析する	プランを立てる
	ホームヘルパー(訪問介護員)	人の身の回りの世話をする	料理をする	スピーディに行動する	人の気持ちを察する
	ケアワーカー(介護福祉士)	人の身の回りの世話をする	力仕事をする	すばやく判断する	人の気持ちを察する
	理学療法士	人に助言する	人に教える	プランを立てる	調べる・分析する
	福祉住環境コーディネーター	プランを立てる	絵を描く・デザインする	調べる・分析する	資料づくりをする
②環境を大切にできる社会	環境プランナー	人に助言する	調べる・分析する	資料を作成する	プランを立てる
	環境計量士	機械を操作する	パソコンを駆使する	資料を作成する	調べる・分析する
	パークレンジャー(国立公園管理官)	スピーディに行動する	厳しい環境に耐える	すばやく判断する	調べる・分析する
	林業技師	花や樹木を育てる	調べる・分析する	人に助言する	プランを立てる
	再生可能エネルギー関連の研究者・技術者	新しいアイデアを考える	調べる・分析する	複雑な計算をする	正確な判断をする
③経済活力のある社会	金融ディーラー	すばやく判断する	外国語を話す	調べる・分析する	複雑な計算をする
	中小企業診断士	人に助言する	調べる・分析する	資料を作成する	プランを立てる
	マーケットリサーチャー	調べる・分析する	複雑な計算をする	資料を作成する	正確な判断をする
	インダストリアル・デザイナー	絵を描く・デザインする	人を楽しませる	調べる・分析する	正確に作業をする
	公認会計士	人に助言する	複雑な計算をする	調べる・分析する	資料を作成する

■ 対照表②

貢献領域	仕事名称	望ましい「得意なこと」			
④ 子どものびのび育つ社会	保育士	人の身の回りの世話をする	人に教える	演奏する・歌をうたう	子どもと遊ぶ
	学校教諭	人に教える	資料を作成する	人に助言する	子どもと遊ぶ
	児童福祉司	人に助言する	調べる・分析する	プランを立てる	人の気持ちを察する
	ピアノ講師	人に教える	演奏する・歌をうたう	人の助言する	子どもと遊ぶ
	サイエンス・インストラクター	人に教える	ていねいに手づくりする	人を楽しませる	調べる・分析する
⑤ 快適な住環境のある社会	インテリアコーディネーター	新しいアイデアを考える	絵を描く・デザインする	プランを立てる	人に助言する
	造園技能士	花や樹木を育てる	粘り強く作業をする	プランを立てる	力仕事をする
	家具設計技師	絵を描く・デザインする	ていねいに手づくりする	調べる・分析する	資料を作成する
	建築CADオペレーター	絵を描く・デザインする	パソコンを駆使する	正確に作業をする	粘り強く作業をする
	左官	力仕事をする	ていねいに手づくりする	粘り強く作業をする	正確に作業をする
⑥ 人やモノが行きかう社会	パイロット	すばやく判断する	機械を操作する	厳しい環境に耐える	外国語を話す
	航空管制官	すばやく判断する	外国語を話す	複雑な計算をする	正確に作業をする
	航海士	力仕事をする	機械を操作する	スピーディに行動する	厳しい環境に耐える
	鉄道運転士	すばやく判断する	機械を操作する	正確に作業をする	厳しい環境に耐える
	カーデザイナー	新しいアイデアを考える	絵を描く・デザインする	調べる・分析する	資料を作成する

■ 対照表③

貢献領域	仕事名称	望ましい「得意なこと」			
⑦ 世界と交流する社会	国際公務員	人と交渉する	外国語を話す	調べる・分析する	資料を作成する
	留学カウンセラー	人に助言する	外国語を話す	プランを立てる	人に説明をする
	通訳ガイド(通訳案内士)	人をもてなす	外国語を話す	人の気持ちを察する	すばやく判断する
	企業のグローバル営業担当者	人と交渉する	外国語を話す	厳しい環境に耐える	資料を作成する
	企業の海外進出コンサルタント	人に助言する	プランを立てる	外国語を話す	調べる・分析する
⑧ 安全・安心な社会	医師	人に助言する	正確な判断をする	調べる・分析する	すばやく判断する
	警察官	すばやく判断する	スピーディに行動する	厳しい環境に耐える	人に説明する
	消防官	すばやく判断する	力仕事をする	スピーディに行動する	厳しい環境に耐える
	海上保安官	すばやく判断する	外国語を話す	スピーディに行動する	厳しい環境に耐える
	警備員	すばやく判断する	スピーディに行動する	粘り強く行動する	力仕事をする
⑨ 先端技術を生み出す社会	弁理士	調べる・分析する	資料を作成する	文章を書く	人に助言する
	技術翻訳家(者)	外国語を話す	文章を書く	資料を作成する	調べる・分析する
	技術コンサルタント(技術士)	人に助言する	調べる・分析する	資料を作成する	プランを立てる
	メーカーの技術者	調べる・分析する	正確な判断をする	複雑な計算をする	新しいアイデアを考える
	研究機関の研究者	調べる・分析する	複雑な計算をする	正確な判断をする	資料を作成する

■ 対照表④

貢献領域	仕事名称	望ましい「得意なこと」			
⑩ レジャー・趣味が楽しめる社会	ツアー・コンダクター	人と交渉する	人をもてなす	外国語を話す	スピーディに行動する
	コンシェルジュ	人をもてなす	外国語を話す	人の気持ちを察する	人の身の回りの世話をする
	グラウンド・スタッフ	人をもてなす	外国語を話す	スピーディに行動する	すばやく判断する
	スポーツ・インストラクター	スポーツをする	人に教える	人を楽しませる	人に助言する
	スポーツ選手	スポーツをする	人を楽しませる	厳しい環境に耐える	粘り強く作業をする
⑪ インフラが整備された社会	建築士	絵を描く・デザインする	ていねいに手づくりする	調べる・分析する	新しいアイデアを考える
	ファシリティ・マネジャー	プランを立てる	正確な判断をする	調べる・分析する	資料を作成する
	建設機械オペレーター	機械を操作する	厳しい環境に耐える	力仕事をする	すばやく判断する
	鉄道設計技師	調べる・分析する	複雑な計算をする	プランを立てる	ていねいに手づくりする
	測量士	機械を操作する	スピーディに行動する	正確に作業する	複雑な計算をする
⑫ 医療サービスが充実した社会	看護師	人の身の回りの世話をする	人の気持ちを察する	厳しい環境に耐える	すばやく判断する
	臨床検査技師	機械を操作する	正確に作業をする	調べる・分析する	正確な判断をする
	薬剤師	人に助言する	正確な判断をする	正確に作業をする	調べる・分析する
	産業カウンセラー	人に助言する	人の気持ちを察する	調べる・分析する	正確な判断をする
	MR(医療情報担当者)	人と交渉する	資料を作成する	調べる・分析する	スピーディに行動する

■ 対照表⑤

貢献領域	仕事名称	望ましい「得意なこと」			
⑬ 動物を愛する社会	トリマー・グルーマー	動物の世話をする	粘り強く作業をする	正確に作業をする	人をもてなす
	ドッグ・トレーナー	動物の世話をする	スポーツをする	プランを立てる	粘り強く作業をする
	動物写真家	絵を描く・デザインする	人を楽しませる	動物の世話をする	厳しい環境に耐える
	厩務員	動物の世話をする	力仕事をする	粘り強く作業をする	スピーディに行動する
	獣医師	動物の世話をする	調べる・分析する	人に助言する	正確な判断をする
⑭ 食文化が豊かな社会	シェフ・調理師	料理をする	人をもてなす	ていねいに手づくりする	人を楽しませる
	パティシエ	料理をする	絵を描く・デザインする	ていねいに手づくりする	人を楽しませる
	栄養士・管理栄養士	料理をする	調べる・分析する	人に説明する	資料を作成する
	果樹栽培者	花や樹木を育てる	力仕事をする	粘り強く作業をする	機械を操作する
	漁師	力仕事をする	機械を操作する	すばやく判断する	厳しい環境に耐える
⑮ ファッションが楽しめる社会	ネイリスト	絵を描く・デザインする	人をもてなす	正確に作業をする	人を楽しませる
	エステティシャン	人をもてなす	正確に作業をする	人に助言する	粘り強く作業をする
	美容師	人をもてなす	正確に作業をする	絵を描く・デザインする	人の気持ちを察する
	ファッション・アドバイザー	人をもてなす	人の気持ちを察する	スピーディに行動する	人に助言する
	ファッション・バイヤー	人と交渉する	調べる・分析する	すばやく判断する	スピーディに行動する

■ 対照表⑥

貢献領域	仕事名称	望ましい「得意なこと」			
⑩ 情報化の進んだ社会	システム・エンジニア(SE)	プランを立てる	正確な判断をする	パソコンを駆使する	調べる・分析する
	ウェブ・デザイナー	絵を描く・デザインする	新しいアイデアを考える	パソコンを駆使する	人を楽しませる
	セキュリティ技術者	パソコンを駆使する	正確な判断をする	調べる・分析する	資料を作成する
	ゲーム・クリエイター	新しいアイデアを考える	人を楽しませる	プランを立てる	調べる・分析する
	カスタマー・エンジニア	パソコンを駆使する	機械を操作する	調べる・分析する	すばやく判断する
⑪ 新しい文化を生み出す社会	エディター(編集者)	文章を書く	新しいアイデアを考える	資料を作成する	人を楽しませる
	サウンド・クリエイター	演奏する・歌をうたう	人を楽しませる	新しいアイデアを考える	パソコンを駆使する
	放送作家	文章を書く	人を楽しませる	新しいアイデアを考える	人の気持ちを察する
	アニメーター	絵を描く・デザインする	ていねいに手づくりする	粘り強く作業をする	正確に作業をする
	グラフィック・デザイナー	絵を描く・デザインする	新しいアイデアを考える	ていねいに手づくりする	人を楽しませる
⑫ 伝統を大切にす社会	宮大工	絵を描く・デザインする	力仕事をする	ていねいに手づくりする	粘り強く作業をする
	修復士	絵を描く・デザインする	ていねいに手づくりする	正確に作業をする	粘り強く作業をする
	陶芸家	絵を描く・デザインする	ていねいに手づくりする	新しいアイデアを考える	文字をきれいに書く
	書道講師	文字をきれいに書く	人に教える	絵を描く・デザインする	人に助言する
	学芸員(キュレーター)	人に説明する	調べる・分析する	資料を作成する	プランを立てる

補足ワーク:「めざす仕事」に向けて努力することを決める

「未来に向けた努力」を考えてみましょう！

「めざす仕事」を決めただけでは意味がありません。大切なのは、これから先の努力です。

①5つの「めざす仕事(候補)」がどんな仕事なのか、本やインターネットで調べてみましょう。

②「めざす仕事(候補)」の中から、自分にとって「もっともやってみたい仕事」を1つ選び、その仕事で活躍するためには、どんな知識や能力が必要となるのか、それぞれの知識や能力を獲得するために、具体的にどんな努力していくのかを、下記に記してください。

※このワークでは、ごく少数の仕事しか紹介できていません。ワークの成果を活かしつつ、他にも「めざす仕事の候補」を考えてみてください。

もっともやってみたい仕事(名称)	必要な知識や能力は何か？	どんな努力をしていくか？
	<div style="border: 1px dashed black; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px dashed black; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px dashed black; height: 100px;"></div>	<div style="border: 1px dashed black; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px dashed black; height: 100px;"></div> <div style="border: 1px dashed black; height: 100px;"></div>